

消防団編



令和5年度に更新整備された第7分団車

1. 消防団の現況

本市の消防団は、平成27年4月1日に機能別分団を創設し、現在では1本部8分団、定員124人で組織されています。

消防団は常備消防とともに、地域住民を水火災等から守るため、郷土愛精神により組織された消防機関であり、特に火災における初期消火、更に大規模災害時の対応については、消防団の活躍によるところは極めて大きいものがあります。

このようなことから機動力の強化、装備の充実及び団員の技能の向上を図るとともに消防団の活性化を推進していく必要があります。

(1) 消防団員配置状況

令和5年4月1日現在

階級 名称	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計	定員
消防団本部	1	2						3	3
第1分団			1	1	1	2	8	13	13
第2分団			1	1	1	2	8	13	13
第3分団			1	1	1	2	7	12	13
第4分団			1	1	1	2	8	13	13
第5分団			1	1	1	2	7	12	13
第6分団				1	1	2	8	12	13
第7分団			1	1	1	2	6	11	13
機能別分団							17	17	30
計	1	2	6	7	7	14	69	106	124

(2) 消防団車両配置状況

令和5年4月1日現在

車両名	型式	登録年	免許区分	種類	登録番号	ポンプ 級別	取得年月日
第1分団車	日野 TKG-XZU640M	H26年	準中型	CD-	大宮 830 ま 101	A-2	H26.10.8
第2分団車	いすゞ PB-NKR81N	H18年	準中型	CD-	大宮 800 せ 1860	A-2	H18.10.25
第3分団車	日野 TKG-XZU640M	H25年	準中型	CD-	大宮 830 つ 103	A-2	H25.12.2
第4分団車	日野 BDG-XZU334M	H21年	準中型	CD-	大宮 830 せ 104	A-2	H21.10.15
第5分団車	日野 2RG-XZU640M	R3年	準中型	CD-	大宮 830 つ 105	A-2	R3.10.1
第6分団車	日野 2RG-XZU640M	R2年	準中型	CD-	大宮 830 て 106	A-2	R2.10.7
第7分団車	いすゞ KR-NKR81GN	H15年	準中型	CD-	大宮 800 す 6257	A-2	H15.11.4

2. 団員年齢・勤続年数・職業

(1) 消防団員年齢調

令和5年4月1日現在

	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計	構成率 (%)
18歳から20歳							1	1	0.9
21歳から25歳							8	8	7.6
26歳から30歳							6	6	5.8
31歳から35歳							6	6	5.8
36歳から40歳							9	9	8.6
41歳から45歳							11	11	10.5
46歳から50歳						6	15	21	19.9
51歳から55歳				1	2	5	7	15	14.2
56歳から60歳			3	3	5	3	5	19	17.2
61歳から65歳	1		2	2			1	6	5.7
66歳以上		2	1	1				4	3.8
合計	1	2	6	7	7	14	69	106	100.0
平均年齢								46.7	

(2) 消防団員勤続年数調

令和5年4月1日現在

	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計	構成率 (%)
5年未満							30	30	28.2
5年以上10年未満							10	10	9.4
10年以上15年未満							15	15	14.2
15年以上20年未満						1	6	7	6.6
20年以上25年未満					1	4	8	13	12.3
25年以上30年未満			1		3	5		9	8.5
30年以上35年未満			2	6	3	4		15	14.2
35年以上40年未満		1	3	1				5	4.7
40年以上	1	1						2	1.9
合計	1	2	6	7	7	14	69	106	100.0
平均在団年数								16.1	

(3) 職業別一覧

令和5年4月1日現在

	農業	林業・漁業・鉱業	建設業	製造業	運輸・通信業	卸売・小売業・飲食店	電気・ガス・水道業	不動産業	サービス業	金融・保険業	公務員	日本郵政	その他	合計
本 団			1						2					3
第1分団			1		2	3	1	2	3				1	13
第2分団			4	3	1		1	1	3					13
第3分団		1	1		1		2	2	5					12
第4分団			1	2	1			2	4				3	13
第5分団			4	2		1	1		3					11
第6分団	1		4		2	2	1		1	1			1	13
第7分団			5	3			1		1				1	11
機能別分団									3	1	9		4	17
合計	1	1	21	10	7	6	7	7	25	2	9		10	106

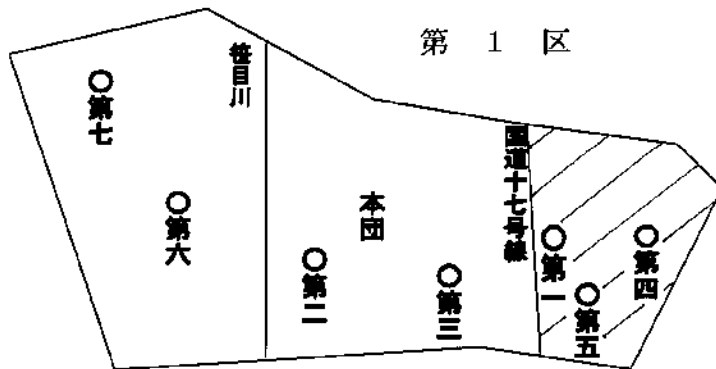
3 . 出動状況

消防団活動状況

区分	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員
火災等	6	118	3	14	4	50
警戒等	5	114	4	75	7	177
訓練等	8	76	13	284	39	543
会議・研修等	9	58	17	75	18	102
総数	28	366	37	448	68	872

当市では火災が発生した場合、一つの火災に偏ることのないように基本団の出動区域を定めています。基本団員の招集方法として、サイレン吹鳴装置・電話回線を使用した順次指令装置、携帯電話、Eメール順次指令装置及び無線傍受機を利用して招集しています。

機能別分団は市内全域において、後方支援、広報活動等を行います。



斜線部分の地域

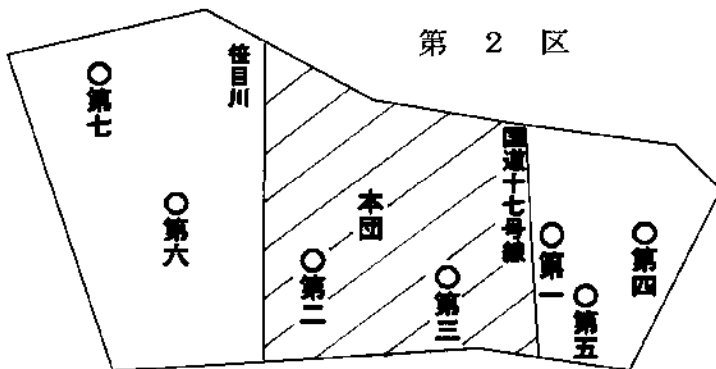
喜沢 1、2丁目・喜沢南 1、2丁目
中町 1、2丁目・下戸田 1、2丁目
下前 1、2丁目・川岸 1、2丁目

出動分団

第 1、2、3、4、5 分団

詰め所待機分団

第 6、7 分団

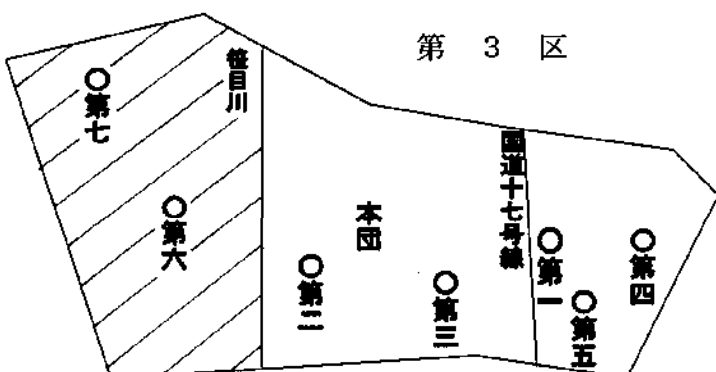


斜線部分の地域

上戸田 1、2、3、4、5丁目・大字上戸田
本町 1、2、3、4、5丁目
川岸 3丁目・南町・戸田公園
大字新曽・新曽南 1、2、3、4丁目
氷川町 1、2、3丁目・大字下笹目

出動分団

第 1、2、3、4、5、6、7 分団



斜線部分の地域

笹目 1、2、3、4、5、6、7、8丁目
笹目南町・笹目北町・早瀬 1、2丁目
美女木 1、2、3、4、5、6、7、8丁目
美女木東 1、2丁目・美女木北 1、2、3丁目

出動分団

第 2、3、6、7 分団

詰め所待機分団

第 1、4、5 分団

斜線部分の地域に第 2 出場の火災を想定した基本団の出動区分

4 . 団員報酬

(1) 報 酬

消防団員の報酬

令和5年4月1日現在

	階級	年額報酬(円)	出勤報酬		
			災害	警戒・訓練	分団長会議
基本団員	団長	171,000	4,000円 ただし、1日の従事時間が4時間を超える場合は、4,000円を加算して支給する。	3,500円 ただし、1日の従事時間が4時間を超える場合は、3,500円を加算して支給する。	2,000円 ただし、1日の従事時間が4時間を超える場合は、2,000円を加算して支給する。
	副団長	142,000			
	分団長	113,000			
	副分団長	87,000			
	部長	78,000			
	班長	67,000			
	団員	61,000			
機能別団員	団員	5,000			

(2) 退職報償金

消防団員として5年以上勤務して退職した者に支給されます。

消防団員退職報償金支給額(単位:円)

令和5年4月1日現在

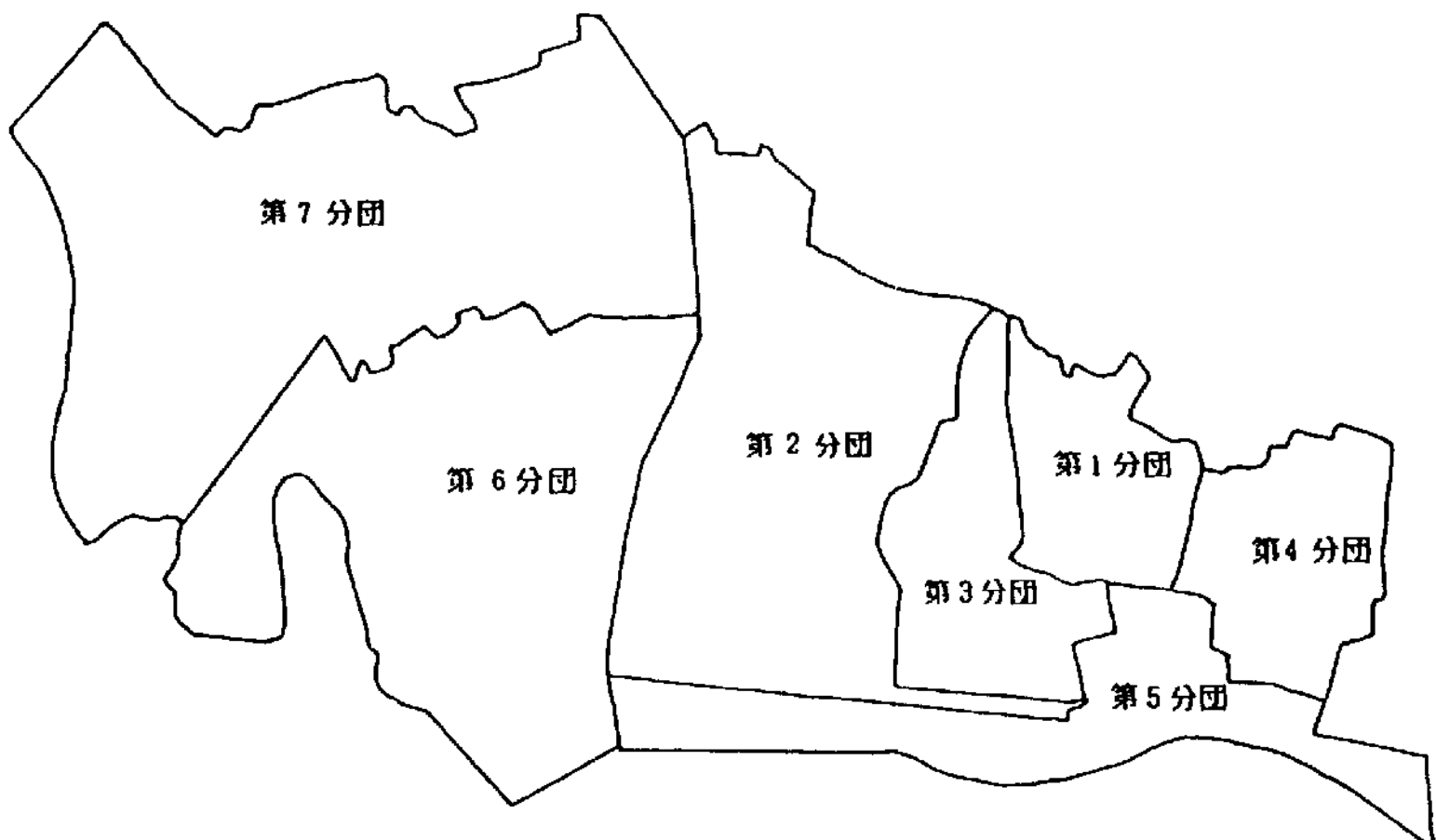
階 級	勤 務 年 数					
	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団 長	239,000	344,000	459,000	594,000	779,000	979,000
副 団 長	229,000	329,000	429,000	534,000	709,000	909,000
分 団 長	219,000	318,000	413,000	513,000	659,000	849,000
副 分 団 長	214,000	303,000	388,000	478,000	624,000	809,000
部 長 ・ 班 長	204,000	283,000	358,000	438,000	564,000	734,000
団 員	200,000	264,000	334,000	409,000	519,000	689,000

5 . 消防団受持区域

分団の名称及び区域

令和5年4月1日現在

分団の名称	区 域
第 1 分 団	下戸田1丁目、下戸田2丁目、上戸田1丁目、上戸田2丁目、本町1丁目、下前1丁目
第 2 分 団	大字新曽、新曽南1丁目～新曽南4丁目、氷川町1丁目～氷川町3丁目、大字上戸田、大字下笹目
第 3 分 団	本町2丁目～本町5丁目、上戸田3丁目～上戸田5丁目、南町、戸田公園1番
第 4 分 団	喜沢1丁目、喜沢2丁目、喜沢南1丁目、喜沢南2丁目、中町1丁目、中町2丁目
第 5 分 団	下前2丁目、川岸1丁目～川岸3丁目、戸田公園2番～10番、堤外笹目水門東側～堤外三領水門西側
第 6 分 団	笹目1丁目～笹目8丁目、早瀬1丁目、早瀬2丁目、笹目南町、堤外環状道路南側～堤外笹目水門西側
第 7 分 団	美女木1丁目～美女木8丁目、美女木東1丁目、美女木東2丁目、美女木北1丁目～美女木北3丁目、笹目北町、堤外環状道路北側
機能別分団	市内全域



6 . 歴代消防団長

令和5年4月1日現在

歴代	氏名	在任期間	備考
初代	熊木秀吉	昭和22年10月1日～昭和28年10月31日	自治体消防戸田町消防団
		昭和28年11月1日～昭和32年6月12日	戸田町連合消防団(改組)
2代	神保湖之吉	昭和32年6月13日～昭和35年3月31日	美笹村、戸田町合併により2団加わり7団に
3代	宮永守雄	昭和35年4月1日～昭和36年7月31日	
4代	熊木市五郎	昭和36年12月2日～昭和38年9月30日	
		昭和38年10月1日～昭和41年9月30日	戸田町消防団(改組:7団を7分団へ)
		昭和41年10月1日～昭和44年5月31日	戸田市消防団(市制施行)
5代	小山徳次	昭和44年6月28日～昭和62年4月30日	
6代	武内福男	昭和62年5月1日～平成3年3月31日	
7代	秋元利夫	平成3年4月1日～平成4年3月31日	
8代	石田昭三	平成4年4月1日～平成5年3月31日	
9代	金子富男	平成5年4月1日～平成9年3月31日	
10代	大貫清明	平成9年4月1日～平成12年3月31日	
11代	春山庄一郎	平成12年4月1日～平成13年3月31日	
12代	杉崎繁雄	平成13年4月1日～平成14年3月31日	
13代	萩原正秋	平成14年4月1日～平成17年3月31日	
14代	大沼一哉	平成17年4月1日～平成19年3月31日	
15代	飯島義男	平成19年4月1日～平成20年3月31日	
16代	林魂明	平成20年4月1日～平成21年3月31日	
17代	秋元徳夫	平成21年4月1日～平成24年3月31日	
18代	野島政雄	平成24年4月1日～平成26年3月31日	
19代	石井義和	平成26年4月1日～平成27年3月31日	
20代	針替一浩	平成27年4月1日～平成30年3月31日	機能別分団創設(7分団を9分団へ) 埼玉県消防協会副会長
21代	酒井久之	平成30年4月1日～令和2年3月31日	
22代	清水稔	令和2年4月1日～令和4年3月31日	令和3年4月1日から機能別分団を 統合(9分団を8分団へ)
23代	矢崎信二郎	令和4年4月1日～現在に至る	